



② 繰り返し使う(リユース)
一度使用した製品や部品をそのままの形で再び使用することです。
・いらなくなった物は、必要な人に譲って使ってもらおう。
・牛乳びんやビールびんのようにお店で回収し、再利用できる製品を購入する。

■循環型社会とは？
循環型社会は、材料やエネルギーなどを大切にし、繰り返し使う社会のことです。一度使った物をそのまま捨ててしまおうではなく、もう一度新しい物を作るための材料やエネルギーとして利用します。

③ 再生利用する(リサイクル)
使用済み製品や生産工程から出るごみなどを回収して、再生利用しやすいように処理・加工し、新たな製品の原材料として再び使用することです。
・家庭から出た資源ごみは、町の「ごみの分け方・出し方」に沿って分別する。
・リサイクル製品をはじめとするエコマークやグリーンマークなどの環境ラベルが付いている環境にやさしい製品を購入する。

① ごみを減らす(リデュース)
ごみそのものを出さない暮らし方で、製品を購入する前に、本当に必要な物か、今あるもので代用できないかなど、よく考えてから行動することです。
・エコバッグを持参してレジ袋をもらわない。
・過剰包装を辞退し、簡易包装の製品を購入する。
・こわれにくく、長く使える製品を購入する。

環境省総合環境政策局環境計画課「ごみも環境白書」より引用

火災事故になりやすいゴミ処理について

電動髭剃器洗浄用カートリッジをゴミとして出す場合、カートリッジ内にアルコール等が残っていると発火の危険性があります。製品取扱説明書に従いカートリッジ内を空にして「燃えないゴミ」の日に出してください。ようお願いいたします。

また、同様なものでは、スプレー缶、ライターなども中を空にしないと発火する危険性があります。スプレー缶は必ず穴を空けて、ライターは完全にガスを抜いてから「燃えないゴミ」の日に出されましよう。お願いいたします。

お問い合わせ
住民生活課生活環境係
☎0287-92-1112



○図書館へ
図書「二宮翁夜話上下巻」
4セット
岩河良彦様(馬頭)

○社会福祉協議会善意銀行へ
八千円 匿名(436回)

○社会福祉協議会振興基金へ
二万円 益子和弘様(健武)

二万円 高久とき様(37回)

十万円 山田良一様(新町)

○社会福祉協議会へ
碁盤(1面)
岡崎イク子様(室町)



広報紙に広告を掲載しませんか？

掲載位置：各ページの下一段
サイズ：縦50mm×横88mm
料金：2色刷 1回 5,000円～
カラー刷(裏表紙のみ) 1回 10,000円～
※複数月連続掲載の場合は割引あり
申込期限：掲載希望する月の初日の40日前
※3月22日までに申し込まれた場合、5月号から掲載可
詳しくは企画財政課広報広聴係(☎0287-92-1114)までお問い合わせください。

新着図書

那珂川町 図書館

『33人チリ落盤事故の奇跡と真実』



マヌエル・ピノ・トロノ著(主婦の友社)
2010年8月5日、チリの鉱山崩落事故により、地下700メートルに生き埋めになった作業員33名。50平方メートルしかないシェルターに、食料はたった2、3日分。
生存が絶望視されていた33人の生命は、なぜ助かったのか。69日間、希望を捨てずにいた彼らが直面していたものは、現地ジャーナリストが克明に記録した感動ドキュメント。

『夢で逢いましょ』



藤田宜永著(小学館)
ある富豪の遺産の秘密を知るオウムの行方を追ってほしい。そんな依頼を受けた幼馴染の探偵・三郎に誘われて、この巻に定年退職したばかりの三郎は、オウム探偵に協力する。
その過程で男たちがたどったのは、輝いていた青春時代の思い出と、「人生最後の恋」だった。
団塊世代を描いた作品で多数のファンを持つ著者の真骨頂とも言える、ノスタルジック・ミステリー。

『古代エジプトのものがたり』



ロバート・スウィンデルズ/再話(岩波書店)
悠久のナイル川に伝わるおとぎ話の大地に花ひらいた、古代エジプト文明。その時代に語られた物語は、どのようなものだったのか。
世界を創り出す神々、何十年ものあいだ戦った男神、勇気を持って困難に立ち向かう女神、不思議な技を使う魔術師たちの壮大な冒険と生死のドラマを、雄大に表現した冊。

- ◇『あんでらすの鐘』 澤田かじ子/著(中央公論新社)
- ◇『きこわ』 朝吹真理子/著(新潮社)
- ◇『四畳半王国見聞録』 森見登美彦/著(新潮社)
- ◇『苦役列車』 西村賢太/著(新潮社)
- ◇『漂砂のうた』 木内昇/著(集英社)
- ◇『おしまいのデート』 瀬尾まいこ/著(集英社)
- ◇『ラストラン』 角野栄子/著(角川書店)
- ◇『まごころの人々』 大森兄弟/著(河出書房新社)
- ◇『Xサイア』 高殿 円/著(角川書店)
- ◇『ザッケローンの哲学』 アルベルト・ザッケローン/著(PHP研究所)
- ◇『ママのための食品添加物事典』 石川みゆき/監修(主婦の友社)

広報文芸

俳句

豆撒きの声張りあげし男ぶり
大野焼一斉に鳥飛び立てり
雪解けの川黒くろと流れ去る
もの音の皆尖りをり冬の夜
枯野縫ふ那珂の源流系のごと
那須の嶺々冬將軍へひれ伏しぬ
松野 大門 正一
松野 鈴木 君枝
松野 大高 富美
小川 小川のぶ子
吉田 国安 薫
小川 和泉すみを

短歌

時すぎても帰らぬ二人の孫待てばスキップしながら角まがり来し
あと幾度まとえるものや七十路をコート売場のためらいて居り
那須岳に雪雲被ひ手を合わす光丸山に風花の舞ふ
女体山の湧水ゆたかに進りボトル弾きて勢い余る
平安の雅びほのかに薄布をほどけば女びな男びなの笑まい
百三歳の媪の甲い待つ部屋に戯れ走る曾孫頼もし
和見 小高 歌子
馬頭 西宮 定子
盛泉 佐藤 茂
馬頭 佐藤 節子
小川 平澤 照雄
小川 古澤 實

川柳

苦勞人どんな壁でも乗り越える
八百長と言う難問に国技揺れ
立春に心も冬の殻を脱ぎ
振り出しの話に戻る三次会
絶滅をしたのか見えぬ青い鳥
難問の山を枕にして眠り
谷田 岡崎 友子
小砂 笹沼 季子
大山田下郷 佐藤 有紀
小川 平澤 照雄
薬利 大崎 克明
谷田 岡崎 甫子